

(2) その他

平成29年度の児童生徒数及びクラスの増加に向けた対応について（報告）

概要

伊奈学校給食センターは管内105クラス分の給食を提供しています。

現在、食缶等を保管する消毒保管庫は残り2クラス分しか余裕がない状況です。

平成29年度の児童生徒数増加に伴い、クラス数も4クラス増の109クラスとなり、現体制のままでは給食の提供が困難となります。

それらの対応として、伊奈・谷和原学校給食センターの配送する学校を調整し、さらに一部小学校の給食について共同配食のご協力をいただくことで、児童生徒数及びクラス数の増加に対応していきたいと考えております。

具体的には、以下のとおりです。

1 両給食センターの配送校の調整

伊奈給食センターの調理数の増加に対応するため、伊奈中学校を谷和原学校給食センターで、十和小学校、福岡小学校を伊奈学校給食センターで給食を作り、調理数の平準化を図ります。

（次項 両給食センター担当食数参照）

2 給食の共同配食化

小学校を例とし1学年1クラスとした場合、児童6クラス分に職員室分を加算した計7クラス分の給食を提供しています。

また、親子学級等のイベントが開催される際は、1クラス分の追加となる場合もあります。

現在、給食の協同配食は、三島小学校6クラス（2，3年生で共同配食）、東小学校5クラス（2，3年生及び4，5年生で共同配食）として実施いただいております。

さらに小学校数校に共同配食をお願いすることで食缶等の増加を抑制し、消毒保管庫の不足に対応していきたいと考えております。